

## こんな問題で、運転士の資格を問われたのではたまたまのものではない

**難解問題で不合格は、乗務員のせいではない**

**「国交省の試験について」JR名古屋地本申4号を申し入れ**

### 国交省の試験とは

JR東海の各運輸区では、毎年年度初に国交省試験と称してマークシートによる筆記試験、乗務試験、EDS(運転士)、CTS(車掌)が行われています。

国交省試験と言っていますが、国家試験でも無く国が責任を持って試験を行っているわけでもありません。ましてや「点数の報告」や、「試験の可否の報告」などを課せられてはいません。国交省指導で行わなければならないのはクレペリンのみです。国交省試験なるものは国交省の中には存在しないのです。

### 多数の不合格者が

今年実施された筆記試験において、ある運輸区では52名の不合格者が出ました。他の運輸区でも2～3割の不合格者が出た模様です。

### この筆記試験には多くの問題があるぞ

- ①試験時間が20分に対し、問題数は25問ですが、一つの設問に対して複数の問題があり、全てに正解しないと不正解になります。つまり100問ほどの問題を20分で解く事になります。問題を読むだけで時間がきてしまいます。
- ②問題はとらえ方によっては○とも×とも回答できるもので、現場ではこの場合は質問者の意図を汲んで○になるとか×になるとか説明される場合もあります。「言葉遊び」「国語の問題」と現場では揶揄されています。
- ③車掌の問題に運転士関係の問題が出されています。また、国交省は「運転士の資質向上」と運転士を限定しているにもかかわらず、会社は車掌を含めた運転関係に携わる者全てにまで範囲を広げています。

### 本当に知識の向上が目的なのか疑問だ！

試験終了後には答え合わせや間違った箇所の解説ありません。間違えたところを知らないまま乗務は続くのです。問題と同じシチュエーションに遭遇したときは、規定上の間違いを起こすことにつながりかねないのです。

不合格だった乗務員は再試験(約1か月後)まで試験が気になっているなど安全上も大きな問題が生じています。

### 出題者の資質こそ問われる

以上、多くの問題を抱えた試験は、どのように作られているのか明らかにしてほしいものです。知識の向上とはほど遠い試験はまるで、出題者が言葉遊びを楽しんでいるようにしかみえません。

**会社は、知識の向上を目的とせず、**

**順列を付けることが目的の試験を中止すること！**